

取組と評価から大きく3つの課題を抽出しました。解決に向けての方策についてご意見を伺います。

### 1. 介護人材の確保、育成

#### 【現状】

- ・令和7年度は、介護に関する入門的研修(2回28人参加)、介護に関するスキルアップ研修(6人終了)。
- ・令和8年度は、子育て世代・若者向けの介護に関する入門的研修を実施。
- ・就労支援機関(ハローワーク、県社協福祉マンパワーセンター)イベントに市も共催参画、研修周知の協力。
- ・高校生がキャリア教育の中で、介護の仕事を知ってもらうため、高校との連携の検討。

#### 【課題】

- ・市としてできる、潜在的労働力へのアプローチ、若年層へのアプローチ・学生(高中小)へのアプローチ。
- ・介護・福祉の仕事に関心を持つきっかけづくり。

### 2. 地域の担い手(支え合い活動、介護予防活動に関わる人)の確保・固定化

#### 【現状】

- ・令和7年度は、生活支援体制整備の住民主体による支え合い活動の累計件数108件
- ・令和7年度は、はつらつかフェ33か所、ピンシャン体操クラブ70件、介護予防サポーター新規72人・活動者数750人(前年度より横ばい。)

#### 【課題】

- ・生活支援体制整備では、町単位での活動創出を進めているが取り組みに差が生じている。
- ・担い手の確保や活動定着の仕組みづくり。

### 3. 認知症施策の推進

#### 【現状】

- ・令和7年度は、認知症サポーター養成1,701人(前年度より減少)、チームオレンジ新規養成11人(前年度より減少)、認知症本人ミーティング参加47人(前年度より横ばい)、認知症カフェ参加4,231人(前年度より増加)。

#### 【課題】

- ・本人主体・社会参加を重視する支援の展開。